

リース終了物件を活用した被災地支援活動について

社団法人リース事業協会

はじめに

2011年3月11日に発生した東日本大震災では、東北地方の太平洋側を中心に甚大な被害が生じました。震災に遭われた方々に謹んでお見舞いを申し上げます。

当協会におきましては、リース業界の特色を活かした被災地支援活動として、リース終了パソコンを整備して被災地の公的教育機関に提供しました。以下では、この支援活動の経緯、仕組み、2011年度の活動状況、今後の展開についてご紹介します。

1. 経緯

経済界では東日本大震災の被災地域、被災された方々に対する様々な支援活動を行っています¹。当協会におきましては義援金2,000万円を拠出することとしましたが（2011年5月）、義援金の一部については、リース業界の特色を活かした被災地支援活動として、被災教育機関にリース終了パソコンを提供するために必要な経費に充てることとしました（2011年9月）。

(1)リース業界の特色

リース業界の特色は、企業（ユーザー）に設備類をリースするために数多くの物件を所有していることにあります。これらの物件は、リース期間が終了した後に、ユーザーからリース会社に返還されます（リース終了物件）。リース終了物件は、パソコンをはじめとする情報関連機器から産業・工作機械、商業・サービス業用設備など多種多様なものとなっていますが、リユース（再利用）、リサイクル（再資源化）などで有効に活用されています。

(2)支援先

被災地の将来を担う次世代の教育現場（小学校、中学校、高等学校、特別支援学校）と地域社会の交流活動や文化活動の拠点（図書館、博物館、公民館）に対する支援を行うこととしました。

これらの教育機関を所管する教育委員会²のヒアリング調査、文部科学省が設置している「子どもの学び支援ポータルサイト」³を確認したところ、教育環境復旧のためにパソコン導入のニーズがあることが分かりました。（教育機関の被災概要は表1を参照して

1 経済界における東日本大震災の支援活動は、日本経済団体連合会社会貢献推進委員会1%（ワンパーセント）クラブ「東日本大震災における経済界の被災者・被災地支援活動に関する報告書」（2012年3月）で詳しく紹介されています。
2 小中学校および市町村立の図書館・博物館・公民館は市町村教育委員会、高等学校・特別支援学校は都道府県教育委員会の所管となっています。
3 支援を要請する教育機関と支援を提供する組織をマッチングするために文部科学省が設置したホームページです。

ください)

(3)リース終了パソコンの提供

被災地教育機関のニーズがあり、汎用性が高く幅広く活用できること、リース会社での取扱いが多く、会員会社から幅広く集めることができることからリース終了パソコンを被災地教育機関に提供することとしました。

リース終了パソコンについては、被災地教育機関ですぐに活用いただけるように、清掃・ハードディスクの情報消去などの基本的な整備に加えて、ソフトウェアを導入して提

供することにしました。ソフトウェアにつきましては、日本マイクロソフト株式会社様からWindows XPとOffice2007を無償で提供いただきました。

2. 仕組み

リース終了パソコンは、会員会社から無償で提供を受け、当協会の集積・整備センターに集めて整備をし、被災地教育機関に提供しました。

表1 教育機関の被災概要

| |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 図書館が被災したため、プレハブ建屋でパソコン教室を開催したい。 |
| 本校は避難所として、運営してきた際に、避難された方々にパソコンを提供しましたが、その過程でパソコンが壊れ、修理できない状態のものが多数ありました。今回のお話をいただき、大変ありがたく思っております。 |
| 原発事故の影響で町ごと避難しています。 |
| 原発事故からの避難生徒の受け入れを行っているため、教員・生徒数の増加に伴いパソコンが不足している。 |
| 教育用に前世代のパソコンを使用。予算がなくて入れ替えできない。4月の新学期に間に合わせたい。 |
| 震災によりパソコンが机上から落下し、損傷したり、その後動作不良のものがある。 |
| パソコン教室を3学期から始めたい。 |
| 震災の際、パソコン落下等により動作不良のパソコン増加。残ったパソコンで業務をしている。 |
| 校舎に甚大な被害を受け使用不可。仮設校舎を使用中。 |
| 震災補修の建物工事に予算を取られ、パソコンに予算まわらず。 2つの校舎は2年間を通じて耐震補強工事を行う予定。図書館は本年度から建て替え、年度内は使用不可。体育館は立入禁止。今年度設計、来年度着工の予定で3年間使用不可。その他施設も工事実施。 |
| 現在使用しているパソコンは古くて調子が悪く、いつ壊れてもおかしくない状況である。 |
| 津波被害生徒・ご家族・教員多数。他校からの生徒受け入れ。立ち入り禁止建物あり。仮設教室使用。 |
| 校舎、体育館等一部損壊、格技場やプールは現在復旧工事中。生徒・教員の自宅の流失等あり。 |
| 校舎のうち1棟を取り壊し予定。震災の復旧に予算が向けられパソコンに充てることができない。 |
| 震災による体育館・校舎の柱への亀裂・断裂・ガラス破損が多数発生し、体育館と校舎への立ち入りを禁止している。 |
| 避難生徒の受け入れをしているため、一人一台のパソコンの割り当てができず、一部の授業（実習）が困難な状況となっている。 |
| 生徒に進学や就職の情報を閲覧させるパソコンが不足している。 |
| 体育館の筋交いに変形し余震でのさらなる損壊が予想されるため、全校集会ができない。プールの壁面や底に亀裂が入り使用できない。平成24年度を目途に建物・設備の復旧工事が行われる予定。 |
| 教室天井の一部落下、窓ガラス破損、外壁のひび割れ、パソコン落下損壊あり。 |
| 校舎棟はあらゆる場所に大小のひびが入り使用不可。仮設校舎で授業を行っている。 |

* パソコンを提供した被災地教育機関から伺った内容により作成しました。



図1 リース終了物件を活用した被災地域復興支援（仕組み図）

(1) 会員会社からの提供

リース終了パソコンについては、性能・品質を保つために、①製造から概ね5年以内のパソコンで正常に動作するもの、②ソフトウェアが動作する性能を満たすものなどの条件で会員会社から当協会に無償提供を受けました。

(2) 集積・整備センター

集積・整備センター（以下「センター」）は、ヤマトシステム開発株式会社様内に設置しました。センターでは会員会社から搬入されたリース終了パソコンの清掃、ハードディスクの情報消去、整備、動作確認をするとともにソフトウェア（Windows XP、Office2007）の導入作業を行いました。

(3) 被災地教育機関への提供

2011年12月1日に子どもの学び支援ポータルサイトに掲載するとともに、12月13日付で

特に震災で甚大な被害を受けた3県（岩手県、宮城県、福島県）及び3県市町村（130市町村）の教育委員会宛にパソコン提供の連絡をしました。

被災地教育機関へのリース終了パソコンの提供に際しては、被災地教育機関からの要請台数および事情などを考慮して、一教育機関当たりの提供台数を調整しました。

3. 2011年度の活動状況

21県市町村教育委員会から850台のリース終了パソコンの提供要請が寄せられています。会員会社延べ27社から704台のリース終了パソコンの提供を受け、71教育委員会・教育機関に524台を提供しました（2012年3月31日現在）。

表2 提供要請のあった教育委員会名

| 岩手県 | 宮城県 | 福島県 |
|-----------|----------|-----------------------|
| 大槌町教育委員会 | 大郷町教育委員会 | 福島県教育委員会 ⁴ |
| 大船渡市教育委員会 | 大衡村教育委員会 | いわき市教育委員会 |
| 釜石市教育委員会 | 角田市教育委員会 | 大熊町教育委員会 |
| 北上市教育委員会 | 塩竈市教育委員会 | 下郷町教育委員会 |
| 久慈市教育委員会 | 白石市教育委員会 | 白河市教育委員会 |
| | 名取市教育委員会 | 只見町教育委員会 |
| | 松島町教育委員会 | 棚倉町教育委員会 |
| | | 天栄村教育委員会 |
| | | 南会津町教育委員会 |

4 福島県教育委員会所管の各教育機関（高等学校、特別支援学校）に連絡をしていただきました。

表3 提供先教育機関種別提供台数

| 提供先教育機関種別 | 合計 | | 岩手県 | | 宮城県 | | 福島県 | |
|--------------------|-------|-----|-------|----|-------|-----|-------|-----|
| | 教育機関数 | 台数 | 教育機関数 | 台数 | 教育機関数 | 台数 | 教育機関数 | 台数 |
| 小学校 | 13 | 47 | 1 | 4 | 11 | 41 | 1 | 2 |
| 中学校 | 6 | 59 | — | — | 4 | 16 | 2 | 43 |
| 高等学校 | 17 | 69 | — | — | — | — | 17 | 69 |
| 高等学校（商工農） | 5 | 85 | — | — | — | — | 5 | 85 |
| 特別支援学校 | 9 | 87 | — | — | — | — | 9 | 87 |
| 図書館 | 5 | 22 | 4 | 12 | 1 | 10 | — | — |
| 博物館 | 1 | 2 | 1 | 2 | — | — | — | — |
| 公民館 | 6 | 33 | 2 | 25 | 3 | 3 | 1 | 5 |
| 教育委員会 ⁵ | 9 | 120 | — | — | 5 | 69 | 4 | 51 |
| 計 | 71 | 524 | 8 | 43 | 24 | 139 | 39 | 342 |

(1)岩手県

| 岩手県の教育機関数（基礎情報） | |
|-------------------------------------------|---------------------------------|
| 小学校数 | 378校（児童数 70,055名） |
| 中学校数 | 189校（生徒数 37,709名） |
| 高等学校数 | 82校（生徒数 38,374名） |
| 特別支援学校数 | 16校（生徒数 1,437名） |
| 社会教育機関 | 400館 （公民館332館、図書館47館、博物館21館） |
| ※文部科学省「平成23年度学校基本調査」、 「平成20年度社会教育調査」より | |



■はリース終了パソコンを提供した市町村の位置を示します。

図2 岩手県内教育機関への提供状況

5市町教育委員会の要請により、43台のリース終了パソコンを提供しました。

当協会が提供したリース終了パソコンについては、津波の被害を受けて仮設校舎に移転した小学校の教育用途、社会教育機関（図書館、博物館、公民館）の社会教育用途（公民館でのパソコン教室）などで活用されています。

5 教育委員会がリース終了パソコンを受領した後、所管の教育機関（小・中学校、図書館、公民館）に配付しています。

(2)宮城県

宮城県の教育機関数（基礎情報）

| | |
|---------|---------------------------------|
| 小学校数 | 449校（児童数 125,628名） |
| 中学校数 | 224校（生徒数 65,063名） |
| 高等学校数 | 101校（生徒数 62,555名） |
| 特別支援学校数 | 23校（生徒数 2,236名） |
| 社会教育機関 | 548館 （公民館500館、図書館34館、博物館14館） |

※文部科学省「平成23年度学校基本調査」、
「平成20年度社会教育調査」より

7市町村教育委員会の要請により、139台のリース終了パソコンを提供しました。

当協会が提供したリース終了パソコンについては、市町村の小・中学校での教育用途、震災で被害を受けた図書館の仮設建物での社会教育用途（パソコン教室）などで活用されています。



☞はリース終了パソコンを提供した市町村の位置を示します。

図3 宮城県内教育機関への提供状況

(3)福島県

福島県の教育機関数（基礎情報）

| | |
|---------|---------------------------------|
| 小学校数 | 504校（児童数 108,428名） |
| 中学校数 | 246校（生徒数 59,377名） |
| 高等学校数 | 112校（生徒数 58,962名） |
| 特別支援学校数 | 23校（生徒数 2,090名） |
| 社会教育機関 | 498館 （公民館416館、図書館64館、博物館18館） |

※文部科学省「平成23年度学校基本調査」、
「平成20年度社会教育調査」より

福島県立の教育機関（高等学校および特別支援学校）および8市町村教育委員会の要請により、342台のリース終了パソコンを提供しました。

当協会が提供したリース終了パソコンについては、原子力発電所の事故により移転した教育機関（中学校、高等学校）、原子力発電所事故で避難した生徒を受け入れた教育機関（特別支援学校、高等学校）などで活用されています。



☞はリース終了パソコンを提供した市町村の位置、●は県立教育機関の位置を示します。

図4 福島県内教育機関への提供状況

参考：教育機関からの声

| |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 今回のお話をいただき、大変ありがたく思っております。可能な限りで結構ですので、よろしくお願いいたします。 |
| うれしいお知らせをいただきありがとうございます。非常に助かります |
| パソコン届きました。早速設置し、LANケーブルやIPアドレスの入力などを行っています。生徒実習用（主に制御用）として使わせていただきます。本当にありがとうございました。 |
| ありがとうございます。大変助かります。 |
| この度は、大変ありがとうございます。生徒のために活用していきたいと思えます。誠にありがとうございます。昨日、実習室に搬入をさせていただきました。さっそく4月より授業で有効に利用させていただきます。今までは利用していない実習室で、授業に支障をきたしておりました。 |
| 大変助かりました。ありがとうございます。 |
| この度の寄贈、誠にありがとうございました。 |
| 大変程度の良いパソコンだったため、職員一同驚いています。早速、教育活動に活用させていただいております。本校の生徒は、見え方に課題のある生徒もおり、手で使えるとあって大変喜んでおります。 |
| 本日パソコン届きました。何から何までお世話になり、本当にありがとうございました。早速パソコンの設定を嬉々として行っております。 |
| 様々なご配慮本当にありがとうございます。大切に使用させていただきます。 |
| 速急の配置を賜り感謝と御礼を申し上げます。 |
| このたびは教育用パソコンの寄贈のお申し出をいただき大変感謝しております。 |
| 寄贈を賜りまして、誠にありがとうございました。市内3か所の公民館において有効に使わせていただきたいと存じます。 |
| いただきましたパソコンは、パソコン講座を開催するなど、ぜひ、有効に活用させていただきます。この度は誠にありがとうございました。 |
| このたびは本当にありがとうございました。有効に活用させていただきたいと思えます。村内職員一同、大変喜んでおります。 |

* パソコンを提供した被災地教育機関から伺った内容により作成しました。

4. 今後の展開

被災地教育機関からの要請台数に対して、リース終了パソコンの提供台数が満たない状況にあります。さらに、新たな支援要請も寄せられています。

また、リース終了パソコンを提供した被災地教育機関から当協会宛に手紙・メールなどが寄せられていますが、リース終了パソコンが被災地教育機関で有効に活用されていることが分かりました。

これらのことを踏まえまして、当協会では、2012年度の社会貢献活動として、引き続き、リース終了パソコンを被災地教育機関に提供することとします。詳細につきましては、協会ホームページなどでお知らせをします。

さいごになりましたが、被災地教育機関で連絡・調整をしてくださっている関係者の方々、ソフトウェアのご提供を頂いています

日本マイクロソフト株式会社様、パソコンの整備・配送業務をしてくださっているヤマトシステム開発株式会社様及び関係会社の方々、リース終了パソコンをご提供くださっている会員会社の皆様など、たくさんの方々のご支援のおかげで今回の活動が支えられていますことに感謝するとともに、厚く御礼申しあげます。今後とも、本事業にご協力頂きますようお願い申しあげます。



協会に寄せられた被災地教育機関からの手紙